

2019年度 EDUCATIONAL-LEAGUE 要項

1. 名 称 EDUCATIONAL-LEAGUE (略称E-LEAGUE)
2. 所属チーム アンリミテッツ(中野区) 桃五バスケットボールクラブ(杉並区)
NOKE(西東京市) 田無HOOP(西東京市) 北フープ・ステアズ(北区)
立野ミニバスケットボールクラブ(練馬区) MUSASHI(練馬区)
アローズ(西東京市) 小山MBC(東久留米市) BLAZE(日野市)
東大和ビクターズ(東大和市) 松原Mints(世田谷区)
ジュニアーズクラブ(武蔵村山市) 浜っち(杉並区)
3. 目 的
 - (1) リーグが一体となってクリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲームに努める。
 - (2) バスケットボールの持つエンターテイメント性を大切にして、選手が持てる力を最大限発揮できるゲーム環境を提供し、選手、指導者、審判及び保護者が将来に於いてバスケットボールを楽しんでいけるように導いていく。
 - (3) チーム間の交流を大切にし、講習等のイベントやバスケットボールの情報交換を積極的に実施する。
 - (4) E-LEAGUEを通して指導者の指導力、審判の技術、選手の間性が成長することを目指していく。そのために1年を通したリーグ戦で交流する。
 - (5) 中学以降のバスケット環境につなげていく。そのために一般ルールを積極的に採用する。
 - (6) E-LEAGUEの指導者と選手は、敬意と感謝を忘れてはならない。
以下の挨拶を順守する。
 - ① 体育館に入った時に挨拶をする。
体育館の提供や準備をする保護者、練習をみるコーチ、試合のための審判員、試合をしてくれる相手チーム、応援に来てくれる保護者等、多くの助けがあり練習や試合が成立している。
その全員に感謝の気持ちをもって、体育館に挨拶する。
 - ② 体育館を退出した時にも挨拶をする。
選手のために多くの方々が環境を作り、今日もバスケットボールができた。
そのことに敬意と感謝の気持ちをもって体育館に挨拶をする。
 - ③ 指導者及びゲームキャプテンは、試合前に審判及び相手のコーチに挨拶をする。
4. 参加費 2019年度1チーム 3,000円(男女で6,000円)
5. チーム構成 コーチ1名、アシスタントコーチ2名以内、マネージャー1名以内、選手5名以上とする。

6. 競技規則

競技規則は、日本バスケットボール協会バスケットボール規則に準じる。

競技規則を準用しない規則及びミニバスケットボールと誤りやすい規則は以下の通りとする。

- (1) 競技時間は、各クォーター5分または6分、ハーフは1～5分として、会場責任者に一任する。
- (2) すべてのクォーターで、ボールがデッドになった時の交代を可能とする。
- (3) 試合開始時に選手が5人いれば試合成立とする。
- (4) 試合球は合成皮革5号ボールとするが、両チームの許可があれば6号、7号も可能とする。
- (5) リングの高さは260cmとするが、両チームの許可があれば305cmも可能とする。
- (6) クォーター間のTOに対する選手登録は行わない。試合登録する際に第1クォーターのメンバーのみコーチが記載しておく。
- (7) 24秒、14秒ルールを採用するが、器具がなく対応できない会場は24秒のみ採用する。
- (8) バックコートバイオレーションを採用する。
- (9) スリーポイントは、ラインが引いてある会場では採用する。
- (10) タイムアウトは、前半2回、後半3回で45秒とする。ただし第4クォーターは2回までとする。
- (11) 第4クォーター残り2分の得点時は、時計を止めず継続として競技する。
- (12) リーグ戦は引き分けあり。トーナメントはオーバータイムを採用する。
- (13) 同順位になった場合は、Bリーグの規則に合わせて順位を決定する。

7. 審判

- (1) 原則として帯同審判で行い、可能であれば3パーソンを実施する（ミスジャッジを防止）。
- (2) クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲームに努め、コーチの暴言等に対してはテクニカルファウルの適用を徹底する。
- (3) プレゲームカンファレンスだけでなく、可能な限りポストゲームカンファレンスを実施する。

8. 会場と日程

- (1) UNDER 12のFINALと西東京市内チームのUNDER 11の予選は、西東京スポーツセンターを会場とする。
- (2) その他の日程は、各チームの公式戦（都区市大会、多摩リーグ）を考慮した上で調整する。
連携を大切に、1週間前であってもお互いが開催可能であれば、リーグ戦を実施する。
練習試合と同時開催で公式戦を実施してもよいものとする。
- (3) 日程調整が困難な場合に限り、他の公式戦（区内大会、都大会での同カード）をE-LEAGUE公式戦と代替えしてもよいものとするが、あらかじめコミッショナーに許可を得る。

9. 日 程：2019年4月～2020年1月（各チーム18試合～23試合）

UNDER 12

全13チームで、年間チャンピオンチームを決定する。主にリーグ戦形式を採用し、選手の試合機会を確保する。またセカンドステージでは、レベル感を合わせたリーグ戦にして、育成にも重点を置く。

(1) ファーストステージ（13試合）

日 程：2019年4月～8月

実施方法：全14チームの総当たりを行い、ファーストステージにおける1位から14位を決定する。各チームで日程調整して実施する。

(2) セカンドステージ（6試合）

日 程：2019年8月～11月

実施方法：ファーストステージの結果をもとに、上位7チーム、下位7チームに分けて、それぞれリーグ戦を実施し、総合順位（1位から14位）を決定する。

1位、2位は、最終日のFINAL決定。

3位から10位は、サードステージへ。

11位、12位、13位、14位はセカンドステージで敗退とする。

(3) サードステージ（3試合）

(2)の3～10位の8チームでFINALに出場する2チーム（ワイルドカード）を決める。

日 程：2019年11月～2020年1月19日（日）

実施方法：奇数順位と偶数順位にわけ2つのリーグ戦を実施し、各リーグ1位がFINALに進む。

(4) プレーオフ FINAL（2試合）

日 程：2020年1月25日（土）15時00分～20時00分

準決勝1 15：00～

準決勝2 16：00～

エキシビジョン 17：00～（西東京市で調整する）

3位決定戦 18：00～

決勝 19：00～

閉会式 20：00～

会 場：西東京市スポーツセンター（スポセン）

実施方法：トーナメント方式、3位決定あり。

3決前にエキシビジョン5分4クォーター1試合を実施。

エキシビジョンチームは、FINALのTOを担当する。

ベスト4に入っていない西東京市チームから選び、無理な場合は事務局で調整する。

準決勝は、(2)1位VS(3)偶数1位、(2)2位VS(3)奇数1位とする。

10. 日 程 : 2019年11月～2020年2月 (各チーム2～4試合)

UNDER 11 5年生を中心としたチームによる公式戦を実施することで育成を図るとともに、次年度のスムーズなスタートにつなげていく。

(1) 実施方法

14チームを4つのグループに分けて、それぞれのグループ1位の4チームで、決勝を行う。ただし、年度末はスケジュール調整が難しい時期なので、決勝の実施に関しては、2019年中に決定する。

4つのグループに分ける際に、同市同区は別のグループに分ける。

西東京市が入ったグループは、西東京市スポーツセンターを予選会場とする。

4つのグループは、①田無と2チーム②アローズと2チーム③ノークと2チーム④その他の5チームで分ける。

(2) 予 選 (2～3試合)

日 程 : 西東京市チームが含まれる3リーグ

2020年1月25日 (土) 9～14時

残りの1グループ

2019年11月～2020年1月 で日程調整する。

試合時間 : スポセン会場は、7分2クォーターを行う。他会場は任意とする。

※9試合×30分で14:45までに終わらせる(試合22分、アップ5分、入替3分計算)。

(2) F I N A L (2試合) ※調整がつけば実施する。

日 程 : 2020年2月～3月 決勝の4チームで調整する。

実施方法 : 各ブロック1位4チームでトーナメント方式により実施する。試合時間は任意とする。

11. 年2回(1学期・2学期それぞれ1日で3会場に振り分けて行う)

UNDER 10 日 程 : 春の陣①谷戸会場4月28日(日) ②桃五会場4月30日(火)
③美鳩会場5月4日(土)

秋の陣①谷戸会場(未定) ②住吉会場(未定) ③未定

(1) 4年生以下に試合を体験させ、モチベーションアップにつなげる。

優勝は決めない。

(3) 審判は、できるだけ経験者をあてる。試合の進行管理が難しく、初心者では試合進行が遅れ、予定通りできないため。

(4) 試合時間は、7分2クォーターもしくは、8分2クォーターを会場ごとに決定する。

(4) 男女別の実施するが、試合が成立しない場合は男女混合を可能とする。